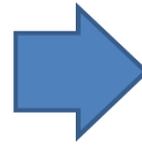


平成30年度 学力向上に向けた検証改善シート

尾道市立 因島南中学校

1 課題

全学年において基礎基本の定着を目指す。また思考力や活用力を伸ばす授業改善に努め、思考問題や活用問題の正答率の向上を目指す



2 めざす姿

- ・授業において自ら主体的に学び考える学習姿勢
- ・家庭学習が定着し確実に宿題が提出できる
- ・南中タイムやテストなどで基礎基本が定着している

3 めざす姿に向けた取組の具体

1学期の取組	検証	2学期の取組	検証	3学期の取組	検証
家庭学習と南中タイムをリンクさせる南中学びのサイクルの実践(南中タイム合格率90%以上) 定期的英語の基本文型テストの実施(定着率70%) 定期的な国語基本テストの実施(定着率70%) 定期的な基本計算テストの実施(定着率70%)	家庭学習と南中タイムをリンクさせる学びのサイクルを進めていった。南中タイムの1学期の平均合格率が80%であった。合格率が上がるように取り組みを強化して進める。 定期的英語の基本文型テストの実施した結果定着率は74%であった。年度当初計画した全校体制の取り組みを進める。 定期的な漢字テストの実施した結果定着率は84%である。毎日の練習とその提出率の向上を図る。 定期的な基本計算テストの実施した結果定着率85%であった。個別の補習を充実させる。	家庭学習と南中タイムをリンクさせる南中学びのサイクルの実践(南中タイム合格率90%以上) ・毎週英語の基本文型テストの実施(定着率70%) ・定期的な漢字テストの実施(定着率70%) ・定期的な基本計算テストの実施(定着率70%) ・毎週末の提出物の徹底(100%) ・個別学習の面談の実施(家庭学習・授業規律・相談等)による学習の意識づけ ・考える場を工夫した授業改善の実施(授業参観月間による授業研究等) ・他校への視察等による授業力の向上、全体への還元		・家庭学習と南中タイムをリンクさせる南中学びのサイクルの実践(南中タイム合格率90%以上) ・課題となる問題について個別補習の実施(2週間に1回以上) ・学びのサイクルの取組後問題の抜粋 ・毎週末の提出物の徹底(100%) ・個別学習の面談の実施(家庭学習・授業規律・相談等)による学習の意識づけ ・考える場を工夫した授業改善の実施(授業参観月間による授業研究等) ・他校への視察等による授業力の向上、全体への還元	

4 取組の結果

1年生 市学力調査(4月)

教科	国語(基礎)	国語(活用)	数学(基礎)	数学(活用)	理科(基礎)	理科(活用)	社会(基礎)	社会(活用)
結果(対県比%)	101.0	94.1	95.3	90.4	99.3	94.4	88.4	100.2

2年生 全国学力・学習状況調査プレテスト

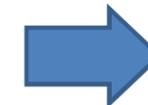
教科	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
目標値(対県比%)					
結果(対県比%)					

3年生 全国学力・学習状況調査(4月)

教科	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
目標値(対県比%)	98	98	98	98	98
結果(対県比%)	97.4	100	93.9	95.7	90.9

H31 全国学力目標値

(対県比%)	100%
--------	------



市学力調査

全国学力・学習状況調査

方策進行管理シート

平成30年度 尾道市因島南中学校

	目標達成のための方策	活動	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	活動達成度	方策達成度	取組評価			
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値						
			達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率						
①	実態把握と分析	結果分析を推進するとともに、研修をもち、結果を周知する。また、分析後の取組の進捗を研修で確認する。	/	/	/	分析・研修 1回	/	研修 1回	/	/	研修 1回	/	/	/						
②	基礎・基本の定着及び課題改善に向けた取組	家庭学習とつないだ「南中タイム（前週の学習内容の確認テスト）」の実施する。	/	平均合格率 80%	平均合格率 80%	平均合格率 80%	/	平均合格率 80%	平均合格率 80%	平均正答率 90%	平均正答率 90%	平均正答率 90%	平均正答率 90%	平均正答率 90%						
		定着が不十分な生徒に対する「再テスト」「学習支援」を実施する。	/	83	79	—	/	/	/	/	/	/	/	/	/					
		授業で英語の基本文型・漢字・基本的な計算のテストを定期的実施する。	/	月2回	月2回	月2回	/	月2回	月2回											
		課題となる問題について個別補習の実施（2週間に1回以上）・学びのサイクル取組後の問題の抜粋	/	2	2	0	/	/	/	/	/	/	/	/	/					
		授業で英語の基本文型・漢字・基本的な計算のテストを定期的実施する。	/	定着率 70%			/	定着率 70%			/	/	/	/	/					
③	課題解決に向けた基礎基本の定着の徹底と授業改善の定着の実施	毎週末の提出物の徹底（毎週金曜日を基本に、提出物が出ていない生徒を残し、提出させる取組を実施する。）	/	/	/	/	/	/	提出率 100%	1年	2年	3年	提出率 100%	1年	2年	3年				
		個別学習面談の実施〔家庭学習・授業規律・相談等〕による学習の意識づけ（2学期半ばを中心に、学年ごとに学習面談を実施する。）	/	/	/	/	/	/	/	/	面談の実施	/	/	面談の実施	/	/	/			
		考える場を工夫した授業改善の実施〔授業参観月間による授業研究等〕（教職員による授業参観月間を設定し、「考える場を工夫」した授業を見合う。）	/	/	/	/	/	/	/	/	授業参観月間の実施	/	/	同実施	/	/	/			
		他校への視察等による授業力の向上、全体への還元（若手教員を中心に、2学期、1人1回以上、他校の研究会に参加する。）	/	/	/	/	/	/	/	/	4年目までの教員100%	/	/	/	/	/	/			

【取組評価】 A:100≦(目標達成) B:80≦(ほぼ達成)<100 C:60≦(もう少し)<80 D:(できていない)<60